

2023 年度事業計画書

基本方針

- 1 埼玉県内のバスケットボール競技の普及・振興を図る
- 2 競技力向上を図り、世界へ羽ばたく人材を育成する
- 3 バスケットボール競技を通じて、生涯スポーツ社会の実現を目指す
- 4 指導者による暴力・暴言の撲滅

事業概要

本協会は、上記基本方針の下、埼玉県内のバスケットボール競技の普及・振興のため各種事業を推進します。

本年は、新型コロナウイルス感染症の感染防止策と安全計画のもと多くの事業が展開できるよう取り組んでまいります。2020 年度以降、感染症の影響を多大に受け事業の多くが中止や延期となりました。2022 年度は多くの事業が展開されましたが、チームの棄権などはまだ多くみられる状態でした。この3年間の経験を活かし事業展開を進めてまいります。

強化対策事業として、特別国民体育大会（鹿児島 国体）では、全種別 8 位以内入賞を目指し、種別毎に強化対策に取り組みます。2022 年度第 77 回栃木国体は、成年男子、少年男子、少年女子の 3 種別が本国体に出場し、成年男子と少年男子がそれぞれベスト 8、少年女子が 2 回戦進出を果たしました。本年度は、関東ブロック大会が埼玉県深谷市で開催されます。全種別の関東ブロック突破を目指します。

ユース世代の育成に力を注ぎ、時代を担う青少年の健全な育成を図ります。2023 年度もアンダーカテゴリー全てに於いてリーグ戦が実施されます。ユース世代のリーグ戦が安定して運営できるよう本協会が支援します。

U12 カテゴリー部会では、大会にリーグ戦を取り入れ年間 1 チーム 10 試合の確保を本年度も目指します。少子化により人数が揃わないチームの出現がみられますが、競技者登録人数が 10 名未満のチームの競技会参加や交流試合の参加を積極的に進め、登録チームや競技者数の確保に努めてまいります。

U15 カテゴリー部会では、長期育成リーグ（DL：Development League）を「登録したすべての選手に経験の場を与えること。」「チームとして拮抗した試合を増やすこと。」の目的のもと事業を展開いたします。DL事業は、2019 年より開始された現在、年間にリーグ戦 2 回、トーナメント 2 回と 4 事業が展開されています。登録については、競技者登録数

の向上に向けて、誰もが参加しやすく、競技を楽しめるような環境づくりを研究してまいります。また、2023年度から中学校部活動の地域移行が進められます。中体連とも情報共有し、より良い活動環境を目指していきます。

U18 カテゴリーでは、各支部（4支部）別のリーグ戦を更に充実した大会へとステップアップします。2022年度、U18日清食品リーグのトップリーグ、関東ブロックリーグなどがスタートしました。競技力向上を図り人材育成を目指します。

育成センター（DC）は、感染症予防を図りながら年10回のDC事業が運営できました。これからも引き続き本協会がバックアップします。

2018年から始動した「埼玉県社会人バスケットボール連盟」と連携し生涯スポーツ社会の実現を目指します。

日本社会人連盟は、2021年度改革の一環としてカテゴリーを再編し、「競技スポーツ」と「生涯スポーツ」に分類しました。本県においても昨年に引き続きそれぞれのカテゴリーの大会が実施されます。

地域リーグは、男子関東A・Bブロック、女子東日本A・Bブロックに編成され、力のバランスが均等になるようリーグが展開されます。

競技スポーツとしては、「全日本社会人選手権大会埼玉県予選」、「全日本社会人O-40・O-50選手権大会埼玉県予選」が引き続き実施されます。

生涯スポーツとして、「埼玉県社会人フレンドリー交流大会」と「埼玉県ゴールドマスターズ大会」が引き続き実施されます。また、「日本社会人フレンドリーシップ60」が深谷市に於いて開催されます。

「埼玉県社会人リーグ」は、「一般リーグ」、「40リーグ」、「50リーグ」の3つのカテゴリーに分かれて実施します。チームは登録区分に関係なくチームの状況に合わせてカテゴリーを選択して参加できます。

指導者による暴力・暴言の撲滅を目指し、指導者研修事業をはじめとする各種研修事業、代表者会議、試合を通してインテグリティの理解を深めてまいります。

また、JBAが推進する「女性コーチカンファレンス」について本協会といたしましても女性を取り巻く現状の理解や、課題の共有をおこない、女性に限らず指導者が抱える家庭、チーム、職場、社会など様々な場面での課題について研修を進めてまいります。

公益財団法人日本バスケットボール協会（以下「JBA」という。）は、ガバナンスコードの公開を各都道府県協会に求めています。「ガバナンスコード」については、ホームページにて公開し、責任を果たしてまいります。

また、2047年の本協会創立100周年に向けて、「チャレンジ50,000」の推進と埼玉のバスケットボールファミリーが一体となってバスケットボール競技の振興・発展に取り組むための中長期計画の立案に取り組んでまいります。

1 部会活動

(1) 総務部会

- ① 諸会議の準備
- ② 中長期計画の立案
- ③ 諸規定の改訂および立案

(2) 財務部会

- ① D-fund 施行に伴う予算編成及び会計処理
- ② 各加盟団体を含めた本協会計一元化の推進
- ③ 公正かつ適正な会計処理に推進
- ④ インボイス制度への対応

(3) 渉外部会

- ① SNSの活用／各カテゴリーとの連動
- ② 中長期計画の立案
- ③ 大型スポンサーの獲得
- ④ アンバサダーへの対応
- ⑤ 「チャレンジ50,000」の推進活動

(4) 事業部会

- ① 普及事業の再構築（Wリーグ、埼玉BBドリームカップ、埼玉カップ）
- ② 中長期計画の立案
- ③ 普及活動の推進
 - ・Wリーグ、Bクラブとの連携強化
 - ・トップリーグとアンダーカテゴリー事業の共同実施の実現
 - BクラブのホームゲームでのBクラブ興行とアンダーカテゴリー公式戦の同時開催

(5) 競技部会

- ① 各種大会実施要項の集約
- ② 天皇杯・皇后杯埼玉県予選会の競技運営
- ③ その他本協会主催事業の競技運営

④ 移籍に関すること

(6) 審判部

- ① ルールの伝達と普及
- ② 審判派遣事業
- ③ 審判養成事業（講習会／研修会）

(7) TO部

- ① トップリーグ担当者（FIBA ライセンス取得含む）、TO インストラクターの発掘・育成
- ② 国内各種大会（天皇杯・皇后杯、トップリーグ等）への TO 担当者派遣
- ③ 県内 TO マニュアルおよびライセンス登録の普及・伝達

(8) 3 x 3 部会

- ① 3人制バスケットボール（3 x 3）の普及
- ② 各カテゴリでの大会の計画及び運営

(9) 強化部

- ① 特別国民体育大会（鹿児島県）強化対策
- ② 国体チーム全体を総括する強化担当者の配置

2 委員会活動委員会活動

(1) 裁定委員会

- ① 裁定に関わる調査、事実認定
- ② 懲罰案の作成と理事会への答申

(2) 規律委員会

- ① 規律に関わる調査、事実認定
- ② 懲罰案の作成と専務理事への答申
- ③ 各種大会における規律担当者の配置

(3) 競技会委員会

- ① 競技部会と連携し、協会主催事業の競技運営

(4) ユース育成ユース育成委員会

- ① U12、U13、U14、U15、U16 のDC（育成事業）の推進

- ② U12、U13、U14、U16 県指定選手の選考
- ③ ジュニアアスリートアカデミー事業との連携による強化事業の推進

(5) 選手選考委員会

- ① 国体選手の選考

(6) 指導者養成委員会

- ① コーチデベロッパの養成
- ② JBA 公認D級・C級コーチ養成講習会の開催及び運営
- ③ JBA 公認コーチリフレッシュ研修会の開催
- ④ JBA 公認A級コーチ、B級コーチ養成講習会受講者の募集
- ⑤ キッズサポーターの養成
- ⑥ クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム、暴力暴言の根絶に関する啓蒙

(7) スポーツ医科学委員会

- ① 国体等の県選抜選手へのサポート
- ② 指導者向け講習会の講師派遣（指導者養成委員会と連携）
- ③ 医科学的情報の発信
- ④ 医科学的な調査

3 アンダーカテゴリー部会

(1) U12 カテゴリー部会

- ① 登録（移籍）に関する把握
- ① 埼玉県スポーツ少年団と連携した部会運営
- ② 各種大会の運営
- ③ 育成センター（DC）事業の諸準備（ユース育成委員会と連携）
- ④ 2024 年度以降の競技会の見直し・再設定とエンジョイ層の再構築
・ 3x3 の新設等
- ⑥ 指導者による暴力・暴言の撲滅を目指し、指導者研修事業の推進
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症の対応

(2) U15 カテゴリー部会

- ① 登録関係

中学部活チーム登録の推進と中学3年生の登録離れに対する検討
移籍に関する基本的な考え方の周知徹底

- ② 中学部活チーム、クラブチーム、Bクラブチームの把握と連携
- ③ 2023年度 U15 リーグと U14 リーグの運営
- ④ 全国 U15 バスケットボール選手権大会 (Jr.ウインターカップ) 埼玉県予選会の運営
- ⑤ 育成センター (DC) 事業運営 (ユース育成委員会と連携)
- ⑥ 2024年度以降の競技会の見直し・再設定とエンジョイ層に対する競技会開催等の検討
 - ・ 3x3の新設等
- ⑦ 指導者による暴力・暴言の撲滅を目指し、指導者研修事業の推進
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症の対応

(3) U18 カテゴリー部会

- ① 全国高等学校バスケットボール選手権大会 (ウインターカップ) 埼玉県予選会の運営
- ② U17 夏季支部大会の運営
- ③ 各支部リーグの運営
- ④ 四支部大会の運営
- ⑤ 高体連バスケットボール専門部と連携した部会運営
- ⑥ 育成センター (DC) 事業の諸準備 (ユース育成委員会と連携)
- ⑦ 2024年度以降の競技会の見直し・再設定とエンジョイ層に対する競技会開催等の検討
 - ・ 3x3の新設等
- ⑧ 指導者による暴力・暴言の撲滅を目指し、指導者研修事業の推進
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症の対応

(4) 社会人連盟

- ① 各種大会の運営
- ② 本協会主催事業の競技運営の支援
- ③ エンジョイ層に対する競技会開催等の検討
 - ・ 3x3の新設等
- ④ 指導者による暴力・暴言の撲滅を目指し、指導者研修事業の推進
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の対応

(5) 障がい者連盟

- ① 各種大会の運営
- ② 車いすバスケットボール国際大会の派遣
- ③ 新型コロナウイルス感染症の対応
- 6 新型コロナウイルス感染症対策
 - ① 連盟・各カテゴリーに感染対策責任者を配置
 - ② 各事業に感染対策責任者を配置